

県 政 だ よ り

# あきた 新時代

9 2004  
月号

平成16年9月1日発行 第108号

[全戸配布広報紙]

編集・発行 / 秋田県情報公開課  
〒010-8570  
秋田市山王四丁目1番1号  
018(860)1073  
FAX 018(860)1072  
sinjidai@mail2.pref.akita.jp

## 行財政～知事がズバリお答えします～ ちいき発「元気宣言」キャンペーンスタート



「防災の最前線がんばります！」  
県消防学校 岩城町では、4月に入校した消防士  
30人が、半年間の研修中です。  
全員が寮生活を共にしながら、消防、救急、救護  
のほかに消防士として必要な実務も学んでいます。  
火災や災害が起こったとき、私たちを守ってくれる  
若き消防士たち。今日も厳しい訓練が続きます。

# 行

# 財

# 政

# 一問 一答



私が入念に検討している。

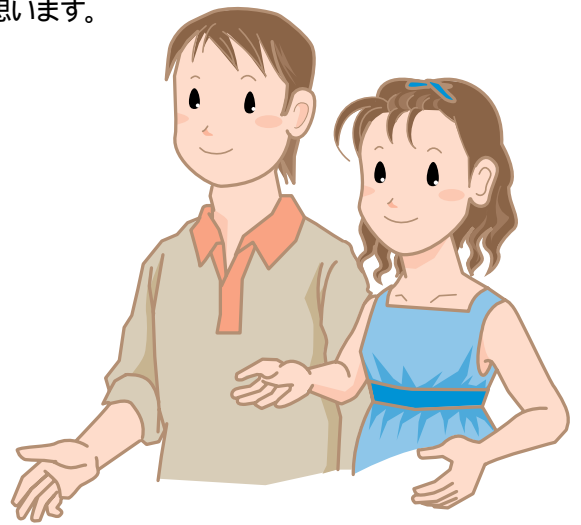
## 県財政はこれからどうなるのですか？

バブル経済の崩壊後、悪化の一途をたどってきた県財政状況に歯止めをかけるため、県は率先して行財政改革を進めてきました。

多くの痛みを伴う改革ですが、その取り組みは大きな成果をあげています。

しかし、この結果に満足しているわけではありません。教育の問題などを含め、県民の皆さんの知恵をお借りしながら、引き続き行財政を大胆に見直していくつもりです。

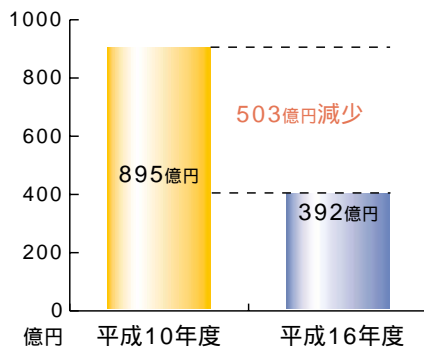
聖域をなくし、社会情勢の変化にも対応できるスピードある行財政改革を進めることで、県財政は必ず良くなると思います。



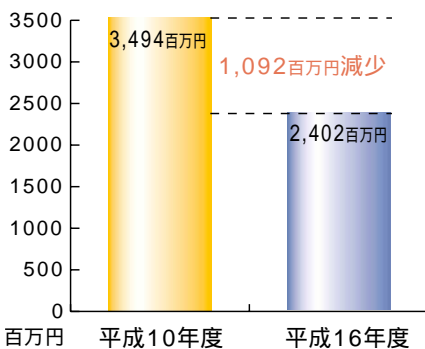
## 主な 行財政改革の 取り組み成果

(財政構造改革検討委員会提出資料)

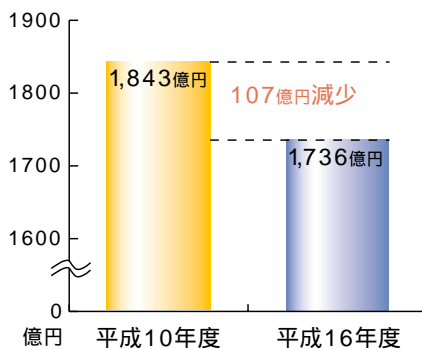
### 県債の新規発行



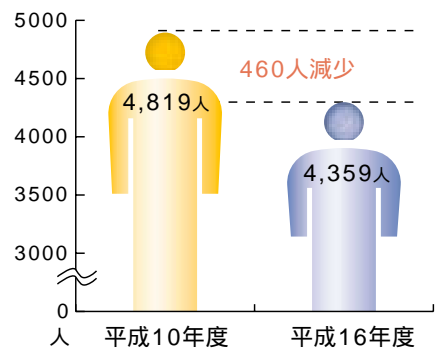
### 時間外勤務手当



### 給与総額



### 職員数(知事部局)





## 県財政が厳しいというけど実態はどうなんですか？

今年3月に公表した県の「財政の中期見通し」では、平成18年度の財政規模は6,503億円と見込まれています。歳入の約3割を占める地方交付税は、今後2割削減される見通しです。

私たちは、これまで以上に経費を節減するとともに、基金の取り崩しで対応しますが、それでも118億円の財源不足になる見込みです。

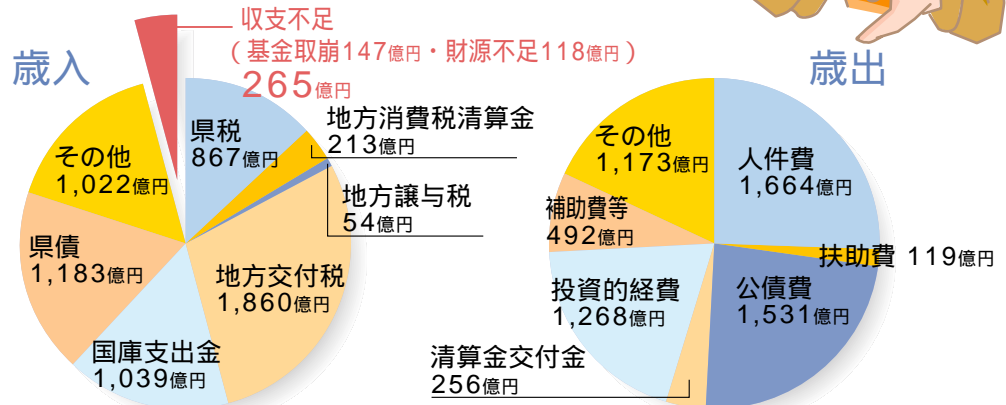
地方交付税：地方公共団体の財源不足を補うため、国から交付される税



### 平成18年度 歳入歳出見込み

予算規模

6,503億円



財政の中期見通し 県財政課 から

## このままだと秋田県はどうなってしまうのですか？

今、何もしなければ、私たちの秋田県は、大変な財政状況になります。

県が取り組んでいる改革に対して、県民の皆さんには不安や不満があるかもしれません。

しかし、国と地方の三位一体改革（ ）などによって、大変厳しくなっている県の財政状況を分かっていたら、県の財政改革の必要性を理解していただくと

思います。

職員が一丸となり、県民の皆さんと協働で、行財政改革を進めていくことができれば、私たちの秋田はこれまで以上に素晴らしい県になると思います。

三位一体改革：地方分権などを進めるため、地方への補助金の見直し、地方への税源の移譲、地方交付税の見直しの3つの改革を進めること



## 次期行財政改革について教えてください

人件費をはじめとする行政コストの徹底した削減と、前例踏襲や垣根意識を取り払うなど、職員の意識改革を図ります。

県土全体の発展につながる戦略プロジェクトの重点的な取り組みを県の役割とし、住民に身近なサービスなどはできるだけ市町村に権限を移譲します。さまざまな規制

を緩和し、住民の皆さんが積極的に活動できる環境を整えたいと思います。

次期行財政改革は、県庁内部の改革にとどまりません。市町村や地域住民、企業も行財政改革の担い手となって、県全体がひとつになって新しい時代の地域づくりに取り組んでいくことが基本です。



## これからの身近な地域づくりは私たちが担っていくのですね

公共・公益サービスや地域活性化の取り組みなど、これまで当然のように行政の仕事だと考えてきた分野であっても大胆にメスを入れたいと思います。これからはあらゆる分野で、地域の皆さんが地域にあった手法を企画・提案し、県や市町村の予算がより効率的に使われるよう、知恵と力を出

し合うことが重要ではないでしょうか。

私は、このような考え方で行財政改革を進めていきます。一緒に地域づくりを進めていきましょう。

県民の皆さん、よろしくお願いします。

次期行財政改革は、パブリック・コメント制度（P16参照）などを通じて皆さんからのご提言をいただくことにしています。



お問い合わせ 県総務課 TEL 018(860)1054 FAX 018(860)1056  
ホームページ <http://www.pref.akita.jp/kaikaku/>

「ちいき発 元気宣言」キャンペーンいよいよスタート!

「みなさんの元気な活動をテレビ番組でPRしちゃおう」

# 企画を大募集

応募締切  
10/22(金)

ちいき発  
**元気宣言**

県は、「ちいき発 “元気宣言” キャンペーン」を展開します。

このキャンペーンは、地域が“元気”になる活動に、県民の皆さんから自発的に参加してもらい、その輪を広げていこうというものです。

今回、キャンペーンの一環として、地域が“元気”になるような活動を行っている団体やグループから、自らの活動内容をPRする企画を大募集します。

最優秀の「あきた元気大賞」に選ばれた企画は、テレビ番組として放映されます。

皆さんのユニークな活動で、地域を、秋田を元気にしてみませんか。

## 応募方法・審査方法

### 応募対象

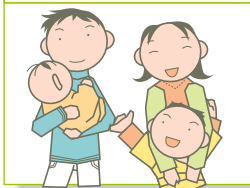
ボランティアやサークル、コミュニティビジネス、NPOなど、県内で地域の元気につながる活動を行っている団体やグループ。(自薦・他薦は問いません。ただし、他薦の場合は、紹介する団体などから承諾を得ていることが必要です。)

### 応募条件

活動内容が、県が進める「夢パートナーシッププラン」の中のいずれかにあてはまること。

夢パートナーシッププラン...新しい秋田づくりのため、県民の皆さんと県がパートナーシップを発揮しながら進める県民運動。

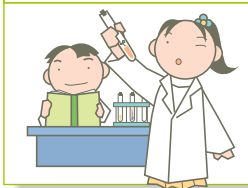
夢ある子育て・家庭づくり



美しいまちづくり



科学する心を育む夢プラン



食と農・森と木にふれあい育むプラン



あきた21ゆとりランドプラン



人にやさしいまちづくり



グローバルあきたプラン



みんなで進める健康づくり



男女共同参画で元気な秋田づくり



### 応募方法

所定の応募用紙などに必要事項を記入し、活動の様子がわかるもの(写真、ビデオテープなど)を添付し、応募してください。応募の締め切りは、10月22日(金)です。

応募用紙は、県情報公開課、県地域振興局、市町村、公民館などで配布します。また、県ホームページからもダウンロードできます。

### 審査方法

書類審査とプレゼンテーション審査を行い、4企画程度を「あきた元気大賞」として選定します。

元気な活動内容をPRしてもらおうプレゼンテーションは、書類審査で選ばれた企画を対象とし、公開審査で行います。

### テレビ放送

「あきた元気大賞」に選ばれた企画に基づき、選定団体などが自ら出演するテレビ番組を制作・放送します。

元気な秋田づくりは  
皆さんが主役です。  
地域で活動する多  
くの方からの積極  
的なご応募をお待  
ちしています。

応募・お問い合わせ

〒010-8570(住所不要) 県情報公開課内「ちいき発 “元気宣言” キャンペーン事務局」

TEL 018(860)1073 FAX 018(860)1072

ホームページ <http://www.pref.akita.jp/koho/kohomenu.htm>

# 9月1日は「防災の日」です

地震、津波、台風、集中豪雨、がけ崩れ…。こうした自然災害は、いつどこで発生するか予測するのは難しいものです。皆さんは日ごろ、具体的にその対策を講じていますか？

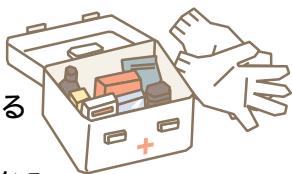
災害が発生しても、普段から防災対策を行ってれば、被害を確実に軽減することができます。いざというときに慌てないように、そして自らの命を守るために、「防災の日」を契機に、まずできることから防災対策を始めましょう。

## 大地震から身を守るためには普段からの防災対策が大切です

昭和58年の「日本海中部地震」や6,300人を超える方が犠牲になった平成7年の「阪神・淡路大震災」のような大地震は、いつ襲ってくるかわかりません。いつ起きても慌てないように、普段からしっかりと心の準備をしておきましょう。

### 防災の心得10ヶ条

- 1 落下物、家具の転倒などから自分の身を守る
- 2 すばやく火元を始末する
- 3 非常脱出口を確保する
- 4 火が出たら隣近所に助けを求め、初期消火に努める
- 5 外へ逃げるときは落下物に注意する
- 6 狭い路地、塀ぎわ、がけ、川べりに近寄らない
- 7 山崩れ、がけ崩れ、津波に注意する
- 8 避難は徒歩で、荷物は最小限度にする
- 9 みんなが協力し合って応急救護する
- 10 正しい情報をつかみ、余震に備える



### 秋田県の防災対策

県災害対策本部と69市町村役場間に地震の震度を自動計測する「情報ネットワーク」を設置

大災害時に備え、県内4箇所にも備蓄倉庫を建設し、備蓄物資を搬入

消防防災ヘリを整備し、県警と共用となる航空隊基地(格納庫・管理棟)を設置

衛星通信回線で、県庁と市町村、消防本部などをネットワークで結び、気象、災害及び災害現場の映像など情報を迅速に収集・伝達できる「総合防災センター」を完成させ、平成12年から運用

### 防災訓練の実施

日本海中部地震の惨事を教訓に、5月26日を「県民防災の日」と定め、訓練を実施

8月30日から9月5日の防災週間での総合防災訓練の実施(今年は9月1日に横手市と共催で開催)



昨年の  
県総合防災訓練の様子  
(鹿角市)



お問い合わせ

県総合防災課 TEL 018(860)4564 FAX 018(824)1190  
ホームページ <http://www.pref.akita.jp/syobo/bousai/bousai1.html>



# こころの健康

うつ病を知って  
自殺防止につなげよう



感じます。ささえます。



だれでも時には気分が落ち込んだり、孤独を感じたり、何をするにもおっくうだったりすることがあります。このような気分は、しばらくすると収まるものですが、長く続くと「うつ病」になっている可能性があります。

うつ病は、心の風邪と呼ばれていますが、放っておくと肺炎に悪化することがあります。

症状には差がありますが、自殺者の多くは、うつ病にかかっているといわれています。

うつ病はきちんと治療することで回復する病気です。うつ病を知り、うつ病に気づき、うつ病に適切に対処することは、自殺予防にとっても大切なことです。

## 増加する自殺者

6月10日に発表された昨年の全国自殺者数は、32,082人(厚生労働省調べ)。本県でも過去最多の519人が自殺しています。これは、交通事故による死者数の実に5倍。自殺率は、平成7年から全国ワースト・ワンが続いています。

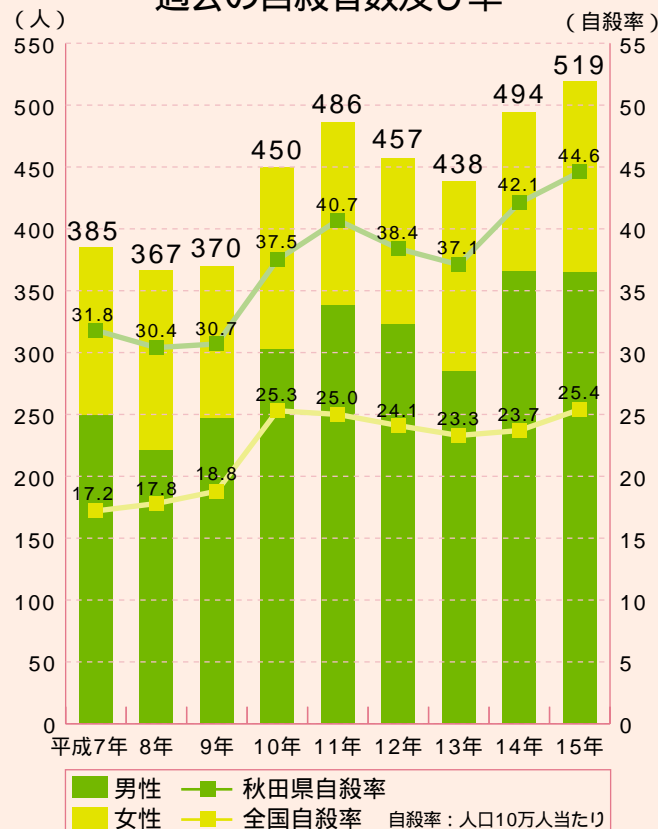
また、本県の自殺者の割合は、働き盛りの40~50代が42%、60代以上が43%で、40代以上が全体の85%を占めています。

県は自殺を社会全体の問題と位置づけて、シンポジウムの開催やパンフレットによる意識啓発を図るなど、みんなが協力して自殺を防止しようと呼びかけています。

## 改善の兆し

平成16年上半年期の自殺者は、昨年と比較して29人減少(県警調べ)しています。これは、自殺予防に関する啓発活動や相談機関の周知などで、自殺と心の病気の関係に対する認識が高まってきたことが要因の一つと考えられています。

秋田県における過去の自殺者数及び率



# 自殺を防ぐ要因の輪

## 県の取り組み

地域や職場などにおける心の健康づくり・自殺予防に関する啓発  
相談体制の充実  
うつ病の早期発見、早期治療につながる医療機関などとの協力体制の充実

## 心の健康づくりをすすめてみましょう

心配事や不安があったら身近な人や相談窓口で気軽に相談しましょう。

ストレスと上手に付き合いましょう。

すべての県民が一体となって、個人の尊厳と命の大切さを再認識し、すべての世代における自殺者を減少させましょう。



## 精神科医 稲村茂先生に聞く うつ病の基礎知識と対応方法

精神科医として毎日の診療のほか、多数のシンポジウムや地域の集いに積極的に出かけて、自殺とうつ病の予防などを、分かりやすく語りかける活動を続けている笠松病院 院長 稲村茂先生にお話を伺いました。

### Q うつ病とはどのような病気ですか？

うつ病は、心の病気と言われていますが、実は、脳にも変化が起きています。脳が元気に働くために必要な物質が減少することで、思考や感情の活動が鈍くなり、これがうつ病へとつながります。つまり、うつ病は、脳のエネルギーが枯れてしまう機能的な病気ですから、しっかりと治療することで、治すことができるのです。しかし、薬だけ飲んでいれば治るものではなく、周囲の人がうつ病を理解して患者さんに接することが重要です。患者さんの周囲や地域の人みんなが支える体制をつくるのが大切です。



医療法人 緑陽会 笠松病院  
院長 稲村 茂先生

## Q うつ病にかかるとどのような症状が表れますか？

うつ病に気付くことは、本人にとっても周りの人にとっても意外に難しいことです。うつ病にかかった人は、周囲の人を心配させたくないと思ひ込み、無理して元気に見せる傾向があります。また、身近にいる人ほど、毎日のちょっとした変化に気付きにくいものです。一般に、次のような症状や状態が表れたらうつ病の可能性があります。

### 自分が気付くこと

気持ちが沈みがちになる（特に朝方）  
疲れやすく、飽きやすい  
急にやせる  
眠れない（早く目が覚める）

### 周囲の人が気付くこと

表情が乏しくなり、口数が減る。悲観的なことを言う  
仕事のミスが多くなる。家事が進まない  
身だしなみがみだれる

## Q 周囲の人はどのようなことに気をつけたらよいのでしょうか？

周りの人が、本人のつらさを感じ取り、見守ることが大切です。そのためには、うつ病を知ることが必要です。うつ病は誰でもかかる可能性のある病気であること、回復まで時間がかかるため早期回復をせかささないなど基本的なことを知った上で、悩みをじっくり聞いてください。

### 対応のポイント

励ましすぎない  
重大な決定は先延ばしにする  
ゆっくり休ませる  
薬をうまく利用する

## Q うつ病と自殺の関係を教えてください。

自殺の原因は、経済的なことや仕事、人間関係などさまざまですが、こうしたことが原因となって自殺するときには、ほとんどの人がうつ病になっているといわれています。うつ病予防は自殺予防にとって重要な課題です。

## Q 日常生活で気を付けることは何ですか？

人の生活には悩みが付きもので、全てがうまくいくわけではない、と考えることで気持ちが楽になると思います。つらくなったときには、一人で背負わずに上手に弱音ををはき、他の人に相談しながら事を進めることも必要です。

## Q 精神科などの専門医にかかりにくい場合はどうしたらいいのでしょうか？

医療機関の連携体制を整えていますので、そのような場合は、まず、かかりつけ医に相談してください。また、さまざまな相談機関も整っていますので、気軽に利用することをお勧めします。

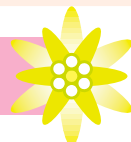
## うつ病を知り、 みんなで支え合う社会を 築きましょう

うつ病は誰でもかかる可能性があること、適切な治療で、治すことができる病気であることを理解しましょう。

そして、心の健康を保ち豊かな生活を送るため、みんなで支え合う社会を築くことが自殺の予防にもつながります。



### うつ病に関する研修会を 開催します



県平鹿地域振興局福祉環境部  
(横手保健所)

TEL 0182(32)3294

うつ病本人・家族教室

9月9日(木) 22日(水) 10月7日(木) 21日(木)

県精神保健福祉センター

(協和町上淀川)

TEL 018(892)3773

うつ病本人教室

10月5日(火) 12月7日(火)

平成17年2月1日(火) 3月15日(火)

うつ病家族教室

9月7日(火) 11月2日(火)

平成17年1月18日(火) 3月1日(火)

うつ講座

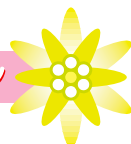
秋田市、大館市で開催予定



心のセーフティネット

### ふぎのとうホットライン

相談窓口一覧(抜粋)



#### うつに関する相談

県精神保健福祉センター TEL018(892)3773

県各地域振興局福祉環境部(各保健所)

#### その他の相談

秋田いのちの電話 TEL018(865)4343

高齢者総合相談センター TEL018(829)4165

くも 蜘蛛の糸 TEL090(9032)9197

お問い合わせ 県健康対策課

TEL 018(860)1423 FAX 018(860)3821

ホームページ <http://www.pref.akita.jp/eisei/index.html>



# 増えていきます!! 高齢者の交通事故

## 人も車も自転車も しっかり止まって しっかり確認

昨年、県内では94人の方が交通事故で亡くなっており、その約6割が65歳以上の高齢者です。

まだまだ若いと思っていても、歩く速度や視力は年齢とともに著しく低下していきます。

夕暮れが早くなるこれからの季節は、運転者も歩行者も相手が見えにくくなり、特に高齢者の交通事故が心配されます。

### 交通事故にあわないために

#### 歩くとき

慣れた道や青信号でも安全確認しましょう  
無理な横断は絶対にやめましょう  
夕方や夜間の外出は、明るく目立つ服装と反射材を着用しましょう



#### 自転車に乗るとき

交差点では必ず一時停止をしましょう  
夜間は必ずライトを点灯し、反射材も付けましょう

#### 車を運転するとき

体調が悪いときは運転をやめましょう  
暗くなる前に早めにライトを点灯しましょう  
必ずシートベルトを締めましょう

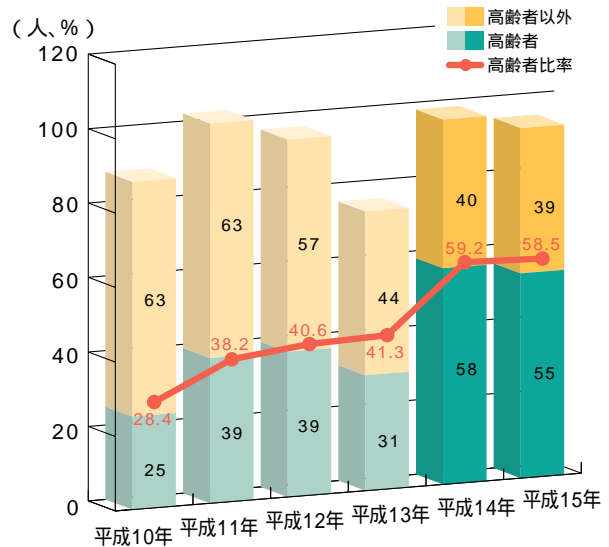
### 男鹿市老人クラブの取り組み

男鹿市老人クラブ連合会は、会員に交通マナーを身につけてもらえるよう、機会あるごとに対話活動を行っています。同連合会交通安全対策部長の阿部糸みさんは「これからは生きがいづくりも含めて、交通安全人形づくり、「ヒヤリハット」箇所地図づくりなど、さらに活動を広げていきたいですね」と話してくれました。



阿部糸みさん

### 【交通事故死者数における高齢者数・比率の推移】



### 秋田経済法科大学の取り組み

秋田経済法科大学学生交通安全委員会は、警察の協力を得て、春と秋に交通安全運動を実施しています。

「事故が起きるのは、ドライバーだけでなく、歩行者にも問題があります。私も歩行者への気配りを忘れずに運転していますが、横断歩道でないところを突然渡ったり、冬道で自転車が滑って車道に出てきたり、危ない行動が目につきます」と同委員会委員長の鈴木真衣子さん。「ドライバーはもちろんですが、歩行者もルールを守り、みんなで交通事故のない秋田県を目指したいですね」と話してくれました。



一人ひとりが交通ルールを守り、運転者はスピードを抑えるなど、思いやりの心を持って、悲惨な交通事故をなくしましょう。

秋の全国交通安全運動が行われます  
～急がずに マナーとゆとりで 交通安全～  
9月21日(火)～30日(木)

運動の基本 「高齢者の交通事故防止」

運動の重点 夕暮れ時と夜間の交通事故防止対策の推進  
シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底  
飲酒運転の徹底追放

お問い合わせ 県民文化政策課 TEL 018(860)1543 FAX 018(860)3891

# 地域とともにがんばる

県内8地域に設置されている地域振興局。それぞれの地域の特徴を生かして、行政の枠を越えた取り組みが広がっていますが、今回は、その中から鹿角と雄勝の取り組みを紹介します。

## 観光資源と知恵を生かした地域づくり

### 鹿角地域振興局

十和田八幡平国立公園を擁する鹿角地域には、年間約428万人(平成15年)の観光客が訪れています。しかし、通過型の観光客が多いことから、地域の魅力を再発見して、滞在型の観光を進める取り組みが始まっています。

鹿角地域振興局の木村明憲さんにお話を伺いました。

鹿角地域振興局の木村明憲さん

#### 「鹿角観光戦略会議」

鹿角市・小坂町からなる鹿角地域は北東北の中央に位置し、高速道路や東北新幹線へのアクセスもよく、十和田湖や八幡平をはじめとする観光地には、全国からたくさんの観光客が訪れています。

この会議は、鹿角地域の地の利を生かして、隣県を含めた広域観光、滞在型観光を推進し、北東北の観光拠点を目指すため、平成14年10月に県の呼びかけで設立されました。

会議の委員は、行政と地元の観光団体、商工会など14人で構成されていますが、地域の人たちの意見をもっと取り入れたいという共通の思いがありました。

そこで、今年7月に、農家、地域の商店街、伝統芸能を守る会など、これまで観光とあまり関わっていなかった業種や団体からも参加者を募り、会議の中にワーキンググループを立ち上げ、地域ぐるみで観光戦略の知恵を出し合っています。

#### 「レンタサイクルで観光のまちづくりを」

平成15年から道の駅かづの「花輪ばやし」の里あんとらあ」を拠点にして、魅力的なおすすめスポットを自転車で巡ってもらおうと、無料のレンタサイクル事業を始めました。

おすすめスポットを紹介した散策マップは、観光戦略会議の担当者の手作り。自転車は、放置自転車などを活用しています。順調に利用が伸びていることから、今年は自転車をさらに増やす予定です。



「鹿角観光戦略会議」委員長の杉山さん(レンタサイクルをご利用ください)

#### 「夜の見どころ再発見」

また今年も、宿泊客の増加をねらって、夜間観光の魅力アップに取り組んでいます。八幡平の山頂で見る星空の美しさは、地元ではよく知られていますが、この星空を観光資源として活用する計画です。

7月28日(水)には「満天の星空観察会IN八幡平」モニターツアーが行われ、参加した約60人のモニターからは、「星に手が届くかと思うほど近くに見えた」「いつまでも眺めていたい」「また参加したい」などの声が聞かれました。

また、地元企業の協力で、7月16日から8月22日まで、旧尾去沢鉱山のシンボルになっている高さ60メートルの巨大煙突などのライトアップを行っています。闇の中に静かに浮かび上がる姿は実に幻想的です。

このほかにも、鹿角地域に生息するゲンジボタルやヘイケボタルが飛び交う様子や、十和田湖畔の夜景演出なども、夜の見どころの候補として検討しています。地域限定、期間限定の独創的な観光素材を再発見し、滞在型の観光につなげていきたいと考えています。



闇夜に浮かび上がる旧尾去沢鉱山

#### 「業種を越えた地域ぐるみの取り組み」

「鹿角観光戦略会議」の杉山委員長は「これからの観光振興は、人づくり・街づくりがキーワードになります。高い知名度に加えて、地域ぐるみで観光客をもてなす街をつくり、鹿角地域の魅力を堪能していただける滞在型の観光地を目指しています。」業種の枠を超えたワーキンググループの取り組みは、観光地を担う人づくりの場でもあります。新しく生まれた地域のつながりの中からどんどん魅力ある観光戦略を打ち出していきたいと思えます」と観光振興への思いを語ってくれました。

通過型から滞在型の観光へ転換し、北東北の観光拠点を目指す鹿角地域。豊かな観光資源の活用と地域の知恵を結集した取り組みが進められています。

お問い合わせ

県鹿角地域振興局地域企画課 TEL 0186(22)0456 FAX 0186(23)5574

ホームページ <http://www.pref.akita.jp/kadukenm/>



# 地域振興局

地域の皆さんと一緒に作る雄湯郷(ゆーとぴあ)

雄勝地域振興局

湯沢雄勝地域のキーワードは「雄湯郷(ゆーとぴあ)」。ユートピア(=理想郷)を実現するため、地域の皆さんと行政が協働で、創意工夫した地域づくりに取り組んでいます。

雄勝地域振興局の田村修平さんにお話を伺いました。

## 「雄湯郷構想」

平成6年11月に策定した「雄湯郷構想実施計画」では、『休むだけの余暇から行動する余暇へ』という住民の意識の変化に対応するため、栗駒山や川連漆器・稲庭うどん、七夕絵どうろうまつり・西馬音内盆踊りなど、この地域がもつ自然、歴史、文化といった特徴を生かしながら、豊かさゆとりを実感できるような地域づくりを目指しています。

また、宮城・岩手・山形の3県に隣接するというメリットを生かして、他県との地域間交流にも積極的に取り組んでいます。

## 「振興局独自の取り組み」

地域振興局には、地域づくりの拠点としての機能を強化するために独自の権限と予算が与えられています。

雄勝地域振興局は、地域間交流事業や食の安全・安心のための事業、生産者と消費者の交流、水辺環境の美化運動などを事業化しています。

## 「雄湯郷クリーンアップ大作戦」

7月4日(日)湯沢市内を流れる白子川で、約2キロメートルにわたって草刈りとゴミ拾いが行われました。これは、白子川流域で生活する住民と県などが協働して行ったもので、振興局の独自予算を活用した事業です。

当日、集まった参加者は、小学生からお年寄りまで約210人。県・湯沢市の職員、NPOや地域づくり団体に



雄湯郷シンボルマーク

加え、地元コミュニティFMなどでの事前呼びかけもあり、一般ボランティアも多数参加しました。予想を上回るうれしい誤算でした。およそ1時間半に及ぶ作業の結果、可燃ゴミが2トントラック4台分、不燃ゴミが同じく3台分、集められました。

当日、参加したボランティアからは「一見するとゴミがないように見えたが、実際やってみてゴミの多さに驚いた」「ゴミを捨てないようにする啓発活動の重要性を実感した」「川がきれいになって気持ちが良かった」



集められたゴミの山

などの感想が数多く寄せられました。クリーンアップ大作戦は参加したボランティアにも好評だったようです。

## 「協働の輪を広げたい」

田村さんによれば、この「雄湯郷クリーンアップ大作戦」は湯沢市環境衛生組織連合会が昭和47年から行っている「鉦打沢川クリーンアップ」と連動して、その下流域を対象に行ったそうです。また、このクリーンアップに合わせて、地元が設立した弁天地区河川愛護会は活動のリーダー的役割を發揮してくれたそうです。

愛護会のメンバーからは「愛護会を立ち上げてよかった。会員の拡大が今後の課題だ」という声が上がっています。また、「20年振りに堤防を歩いた」という人や「来年もぜひ参加したい」という声も寄せられています。

「草刈り機の燃料代、ゴミ袋代と参加者への飲み物代くらいしか経費はかかりませんでした」と田村さん。「でも、その成果は想像をはるかに超えていました。これから他の地区にも愛護会のようなボランティア組織ができていってほしいですね」と語ってくれました。

あまりお金をかけなくても創意工夫と協働によって、大きな効果を挙げられることを教えてくれる雄勝地域振興局の取り組み。協働の輪がさらに広がっていくことを大いに期待したいものです。



雄勝地域振興局の田村修平さん

お問い合わせ

県雄勝地域振興局地域企画課 TEL 0183(73)8191 FAX 0183(72)5057

ホームページ <http://www.pref.akita.jp/ogachikm/>



# おたより 特集

広報紙の紙面づくりには県民の皆さんの声が欠かせません。皆さんから寄せられるご意見やご感想は毎月約400通。紙面への率直な感想や県の取り組みに対する積極的なご提言など、いずれも大変貴重な情報ばかりです。

今回は、5月号から7月号までの特集記事に寄せられた皆さんのご意見、ご感想を紹介します。

## 「国際教養大学」(16年5月号)

本当に今までにない新しいタイプの大学が秋田に開学して、うれしい限りですね。若い人がたくさん秋田にやって来て、にぎやかになるでしょう。入学した学生さんたちにはぜひ頑張ってもらいたいです。

(大館市・25歳・女性)

秋田県も国際化へ歩みだしたとうれしくなりました。このあと大学の様子を紹介し続けてもらいたいと思っています。

(八森町・72歳・男性)

開学の記事で「全国にない、誇れる大学ができた」と知事さんの話が載っています。しかし、本当にできるのはこれからだと思います。県民の一人として、何ができるか考えていきたいと思っています。

(秋田市・72歳・男性)

国際教養大学の開学の記事とてもよかったです。とことん極めるって大切なことだと思います。施設が再生できて、ほっとしたというか安心しました。学生の皆さんがんばってください。

(西仙北町・39歳・女性)



## 「白神山地」(16年6月号)

世界自然遺産が私たちの住む秋田県にあることは県民として誇りに思います。この自然を孫・ひ孫の代までもずっと見続けられるようにと思います。一度壊された自然は元に戻らないと思いますので、入山者の皆さんには、ぜひマナーも守ってもらいたいです。

(秋田市・56歳・女性)

「白神山地」の入山規制をもっと強化すべきだと思います。「入山を許可制にする」「自然観察会の回数を増やし、小グループや個人は許可なく入山させない」など、素人考えですが・・・せっかくの世界自然遺産なのだから、保護を優先すべきではないでしょうか。

(秋田市・53歳・男性)

世界自然遺産である白神山地を守るため、さまざまな試みがなされていることを知りました。貴重な自然を守っていききたいですね。

(本荘市・27歳・女性)

正直この「あきた新時代」にはあまり細かく目を通したことはありませんでした。でも今回の「白神山地」の特集記事にひかれ目を通しました。こんなに美しい大自然を私たちは次世代に受け継いでいく責任があると思います。「世界自然遺産」をいつまでも大切に守っていかたいですね。

(湯沢市・36歳・女性)



## 「秋田にぎわい座」(16年7月号)

東京に行く楽しみが増えました。これからはもどしどしこんなイベントを開催して、秋田を観光客にPRしてください。

(秋田市・78歳・女性)

「秋田にぎわい座in池袋」の成功、素晴らしいと思います。東京でたくさん秋田をPRすることで、秋田の名が知れていくことはうれしい限り。今後も続けてほしいです。

(秋田市・29歳・女性)

「秋田にぎわい座in池袋」ずいぶん楽しそうですね。そういえばテレビで見ましたよ。東京の友人(秋田県出身)がとても喜んでいました。

(田沢湖町・51歳・女性)

自分の知らないところで皆さんが秋田のPRを一生懸命やっているんだなあと感心させられました。

(雄物川町・44歳・女性)



## 「地域再生計画・特区」(16年6月号)

合同保育、始めるにあたっていろいろ大変なことも多いと思いますが、将来的には良いことだと信じています。特区の人たちが良い見本となってくれることを期待しています。

(大館市・37歳・女性)

合同保育はいいことだと思います。息子はまだ1歳3カ月ですが、近所で小さな子どもが少なく、友だちと交流するということがありません。近所の幼稚園でも人数が減っていると聞きます。少しでも息子には多くの友だちを作らせてあげたいし、いろいろな交流をさせてあげたいと思います。

(天王町・22歳・男性)

現代は少子化の時代なので「幼保一体」の合同保育は私も賛成で、必要な地域にはぜひ取り入れてほしいです。

(大曲市・30歳・女性)



# アトリオン音楽ホール ♪ コンサート案内 ♪

アトリオン音楽ホールでは、さまざまなジャンルのクラシック音楽を低料金で鑑賞できる場を提供するため、月1回、国内外の一流アーティストのコンサートを開催しています。

秋田杉をふんだんに張り巡らせた、温かで柔らかな響きのする県内唯一の音楽専用ホールで、世界の一流アーティストの演奏を楽しんでみませんか。

## ザ・キングズシンガーズ アカペラ・コンサート

10月9日(土) 午後3時開演



アカペラの王様として世界に君臨する  
スーパーグループ

プログラム ビートルズ・メドレー、イギリス民謡 ほか

入場料金 (一般)4,000円(高校生以下)1,500円  
(全席自由)~チケット発売中~

## フランク・ペーター・ツィンマーマン バイオリンリサイタル

11月7日(日) 午後2時開演



大家の道を歩むドイツの正統派バイオリニスト

プログラム ベートーベン/バイオリン・ソ  
ナタ第5番へ長調「春」ほか

入場料金 (シングル)4,000円(ペア)7,000円  
(全席自由)~チケット9月7日(火)発売~

## アンサンブル・エスプリ・フランセ

12月18日(土) 午後6時開演



工藤重典(フルート)を始め、パリで活  
躍する名手たちが贈るしゃれた室内楽

プログラム J.Cバッハ/五重奏 二長調 ほか

入場料金 (一般)4,000円(高校生以下)1,500円  
(全席自由)

## エリアフ・インバル指揮/ ベルリン交響楽団&川久保賜紀(バイオリン)

平成17年3月5日(土) 午後3時開演

世界屈指の巨匠インバルが紡ぎ出す、深遠なるマーラーの美  
の世界

プログラム メンデルスゾーン/バイオリン協奏曲 水短調  
マーラー/交響曲第9番 二長調

入場料金 10,000円(全席指定)



平成17年

ウィーン交響楽団ヨハン・シュトラウス・アンサンブル&  
メラニー・ホリデー(ソプラノ)

1月16日(日) 午後2時開演 7,000円(全席指定)

アトリオン室内オーケストラ第22回定期公演

2月13日(日) 午後2時開演  
(一般)3,500円(高校生以下)1,500円(全席自由)

アトリオン・ピアノフェスティバル

2月26日(土) 午後3時開演 1,000円(全席自由)

香取智子オルガンリサイタル

3月18日(金) 午後7時開演 1,000円(全席自由)

チケットのお求めは、お近くのプレイガイドで  
お問い合わせ 県総合生活文化会館(アトリオン音楽ホール)  
TEL 018(836)7803 FAX 018(836)7808  
<http://www.pref.akita.jp/atorion/>

# 健康

新時代  
セミナー  
vol.5



## 虫歯予防とフッ素について(続)

生えたばかりの歯は、タケノコのように  
柔らかいことを知ってますか?

タケノコが竹に成長するように、中学3年  
くらいまでの間に、歯も少しずつ硬く強  
くなります。実はこの柔らかい期間に、とて  
も虫歯にかかりやすいのです。

**歯磨きや甘い物をひかえるだけで  
は、虫歯予防はできません**

歯磨きは大切ですが、毛先が届かない奥歯  
の溝、歯と歯の間などを完全に磨くことはで  
きません。また、日本人は欧米人などに比べ  
て、砂糖の摂取量が半分程度といわれてい  
ますが、虫歯が少ないわけではありません。

**フッ素の使用(フッ素洗口)で歯質を  
強くする**

世界保健機関(WHO)は、虫歯予防にフッ  
素の使用(フッ素洗口)が有効で、安全である  
と認め、その利用を勧めています。

私たちが食事をするたびに、歯は主成分の  
カルシウムを出したり取り込んだりしていま  
す。カルシウムを取り込むときに、一緒にフ  
ッ素を取り込むことで歯の表面のエナメル質  
が強くなります。

歯の生え始めから中学3年くらいまでの  
間、フッ素洗口を続ければ、虫歯予防効果は  
その後も長く続き、永久歯の虫歯予防につな  
がるのです。

お問い合わせ 県健康対策課 TEL 018(860)1422 FAX 018(860)3821



# 情報の ひろば

## 募集

### 秋田県森林祭

県民総ぐるみの森林づくり活動を進めるため、枝打ちなどの育樹活動や自然観察会を行います。

日時 10月11日(祝) 午前10時  
場所 吉田農村公園(阿仁町吉田)  
秋田市から無料のバスを運行します。自然観察会は紅葉の森吉山周辺で行います。(ゴンドラ代有料)  
申込期間 9月22日(水)まで  
県北秋田地域振興局森づくり推進課  
TEL 018(62)1445  
または県森林環境対策室  
TEL 018(860)1750

### 「女性政策チャレンジセミナー」 研修生募集

政治や行政に興味がある、または参画したい女性を対象に、行政のしくみや課題、政治の場への参画について学ぶセミナーを開催します。

開催日時 1回目10月26日(火)  
2回目11月 8日(月)  
3回目11月26日(金)  
時間はいずれも午前10時~午後3時30分(原則として3回の講座を全て受講)  
応募方法 申込書と作文の提出  
募集期限 9月30日(木)  
場所 中央男女共同参画センター(秋田市アトリオン内)  
中央男女共同参画センター  
TEL 018(836)7853 FAX 018(836)7854

## お知らせ

### 「不正軽油一掃作戦」実施中!!

県は、軽油取引税の脱税につながる不正な軽油を県内から一掃するため「不正軽油一掃作戦」を実施中です。

特に、10月をそのための「強調月間」とし、走行中の車両などを対象に燃料の抜取調査を行いますので、県民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

また、不正軽油などの情報がありましたらご連絡をお願いします。

県税務課  
TEL 018(860)1124 FAX 018(860)3827

### 「健康づくりフェスティバル」

講演会やコンサート、栄養・運動・休養をテーマにした「けんこう屋台村」など、盛りだくさんのフェスティバルです。

日時 10月10日(日)  
午前10時~午後6時  
場所 秋田テルサ(秋田市御所野)  
(講演会・コンサート)  
イオン秋田ショッピングセンター(けんこう屋台村)  
県健康対策課  
TEL 018(860)1422 FAX 018(860)3821

### 9月ば「障害者雇用支援月間」です

障害者の自立を助け、障害のない人とともに働ける社会の実現に向けて、事業所や地域社会の理解と協力を求めるため、「障害者ワークフェア」、「障害者就職面接会」を開催します。

日時 9月24日(金)午後1時  
会場 秋田ビューホテル(秋田市)  
県雇用対策室  
TEL 018(860)2331 FAX 018(860)3833

### あきたエコ&リサイクルフェスティバル

大人と子どもが一緒に楽しめる「エコロジー」と「リサイクル」のお祭りです。エコ緑日、体験コーナーなど盛りだくさんです。

日時 9月25日(土)~26日(日)  
場所 秋田駅前アゴラ広場  
県環境あきたアクションチーム  
TEL 018(860)1572 FAX 018(860)1574



体験コーナー  
(木工教室)

### 「遊学舎まつり」を開催します

遊学舎を拠点に活動をしている団体が主体となり、自由時間の有効活用やNPO活動のイベントを開催します。

体験コーナーなど楽しいイベントが盛りだくさんです。入場無料です。  
日時 10月9日(土)~10日(日)  
午前9時30分~午後4時30分  
場所 ゆとり生活創造センター  
「遊学舎」(秋田市上北手)  
「遊学舎」  
TEL 018(829)5801 FAX 018(829)5803

### 動物愛護フェスティバル2004 あきた

動物愛護にちなんだ、子どもから大人まで楽しめるイベントです。  
日時 9月23日(祝) 午前10時

場所 大森山動物園(中学生以下無料)  
内容 クイズラリー、動物ふれあい教室、ストーンペインティング、親子で挑戦アートバルーンなど  
県生活衛生課  
TEL 018(860)1593 FAX 018(860)3856

### 犯罪被害者支援の日

10月3日は「犯罪被害者支援の日」です。当日、午前11時から秋田駅のポポロードで、なまはげが「犯罪被害者に理解ある社会づくり」を呼びかけます。

また、(社)秋田被害者支援センターでは、犯罪被害に関する相談を受け付けます。  
相談受付期間 9月28日(火)~30日(木)  
午前10時~午後4時  
相談専用電話 0120(62)8010(フリーダイヤル)  
県警察本部犯罪被害者対策室  
TEL 018(863)1111

### 秋田県立大学 大学祭

秋田・本荘の両キャンパスで、学生の研究発表のほか、楽しいイベントが盛りだくさんです。

『松風祭』秋田キャンパス(秋田市下新城野)  
開催日 10月9日(土)~10日(日)  
『潮風祭』本荘キャンパス(本荘市土谷)  
開催日 10月16日(土)~17日(日)  
秋田キャンパス TEL 018(872)1526  
本荘キャンパス TEL 0184(27)2000

### 県立盲学校「秋盲祭」

地域のひととのふれあいや交流を深める展示コーナーなどがあります。

日時 10月9日(土)  
午前9時30分~午後2時30分  
場所 県立盲学校(秋田市土崎)  
内容 午前 学習発表・ミニコンサート  
午後 展示・販売・理療施術  
体験コーナー

県立盲学校  
TEL 018(846)2540 FAX 018(846)6223

## 試験

### 県出資法人職員共同採用試験

県が出資する公益法人などの職員採用試験を実施します。

1 秋田県小児療育事業団  
職種・採用人員 言語聴覚士・1人  
2 秋田県総合保健事業団  
職種・採用人員 診療放射線技師・若干名(主に乳がん検診に従事するため女性に限ります)  
試験日 10月17日(日)  
受付期間 9月27日(月)まで  
(財)秋田県総合公社  
TEL 018(896)7100 FAX 018(896)7166



テレビ

こちらお茶の間情報局

ABS 毎週日曜日11:00~11:15  
 9月 5日 情報化社会から見た子育て  
 12日 知事サミット  
 北東北三県連携番組  
 19日 ようこそ先生!! 私の学校へ  
 26日 考える 自立した消費者に  
 ~県生活センター~

秋田花まるっ

AKT 毎週月曜日21:54~22:00  
 9月 6日 雄和国際グリア園  
 13日 岩城CGアートフェスティバル  
 20日 秋田拠点センターALVE(アルヴェ)  
 27日 マンスリー県政情報

あきた東西南北

AAB 毎週土曜日9:30~9:45  
 9月 4日 防災! その時に備えて!!  
 ~秋田県総合防災センター~  
 11日 秋田こまち生誕20周年  
 18日 秋田県男女共同参画センター  
 25日 GAOに行こう! 男鹿水族館  
 (アンコール放送)

ラジオ

県庁だより

ABS 月~金11:45~11:50  
 モーニングスマイル  
 エフエム秋田 毎週土曜日 8:30~8:55



あんな声こんな声

4月に施行された「秋田県安全・安心まちづくり条例」の趣旨を冊子にまとめ、県内の小・中・高校に配布できないものでしょうか。

5月24日の地元紙のコラムに、県内で学ぶ大学生約200人に聞いたところ、「秋田の良い面」の第2位に「生活環境」を挙げたと書かれていました。

豊かな地域社会をつくるために、条例を制定したことを少年、少女らに認識してもらうことが、秋田県の住みやすさ、豊かさの再発見と生活環境を見なおす良いきっかけになると考えます。

せっかく全国に誇れる条例を制定したのだから、冊子を活用して、社会科の授業などで秋田の「地域社会」、「生活環境」を考えることを通じて本当の安全、安心なまちが形成されると思っています。(「県政モニター通信」より)



安全で安心なまちづくりは、幅広い県民運動として推進していく必要があります。犯罪の発生状況や特徴、条例の内容などを県民に理解してもらうことが大切であると考えています。

このため、条例PR用のリーフレットを作成、配布し、普及啓発に努めています。

なお、今年度中に、児童、生徒を犯罪から守るために必要な対策の指針を定めることにしていますので、これを盛り込んだ「安全・安心まちづくり」に関する小・中・高校生向けの冊子の作成を検討していきたいと考えています。

社会科などの授業に取り入れることが、「現代社会と私たちの生活」を考えさせるうえで有効な方法であると考えています。

県民文化政策課 TEL018(860)1522

春夏秋冬  
こぼれ話

シリーズ

文 小西 一三 / 絵 小西由紀子

全国で一番出荷の遅い  
鹿角産「北限のもも」



この小さな実が  
1ヶ月後の9月の  
初旬には、直径  
10cm以上 重さが  
400g以上の大きな  
実になるんですから  
たいしたもんだすな

佐藤 一さん(54)

桃は熟しやすいのでと  
にかく短期間に収穫し  
なければならぬ。ま  
さに短期決戦。目の回  
るような忙しさになる。

甘くて果汁たっぷりのももは真夏の果物だ。その収穫と出荷は気候の温暖な西日本から始まり、次第に北へと産地が移動する。りんごなどのように保存ができないももは、収穫したら即出荷。いわば産地間のリレーで大都市の市場にももを供給しているが、全国の産地の中でアンカーを務めるのが鹿角産。九月中旬以降に出荷される「北限のもも」は、残暑の厳しい首都圏の市場で年々人気が高まっているという。

鹿角市はりんごの産地として有名だが、一部の果樹栽培農家では二十年以上も前からももの栽培に取り組んできた。全国でも最も収穫が遅いというメリットを生かし、二年前に「北限のもも生産出荷グループ」が結成され、現在では約三十五ヘクタールのもも園で約百三十人の会員が栽培技術の向上に努めている。

「りんごだけに頼らず、樹種複合として始めた農家がほとんど。現在の主力は川中島白桃という品種。当然、長年やってきたりんごは栽培方法はかなり違っても、市場からは「北限のもも」がよく売れる。もっとも、もっと出荷してくれって催促されるほど。会員は力が入っているんですよ」と会長の佐藤一さん(54)も嬉しそうなお表情を見せる。収穫されたももの八割以上は京浜方面の市場に出荷されるそうだ。

とかく気候的ハンディが多いといわれる中山間地域の農業。その中でハンディをメリットに変えた「北限のもも」の話には、明るさが満ちている。

## あなたの声を県政に

### ～パブリック・コメント制度～

県民の皆さんと協働で県政を進めていくため、施策を決める段階から皆さんの意見や要望をお聴きし、それを施策に反映させようという趣旨で設けられた制度です。

平成15年度にスタートして以来、すでに13件について、この制度を活用して意見募集を行っていますが、今後とも皆さんからの積極的なご提言をお待ちしています。



これからもパブリック・コメントを予定しています。

新行財政改革推進プログラム(仮称)9月下旬  
内容が決まり次第、県のホームページなどに掲載します。

お問い合わせ 県総務課 TEL018(860)054 FAX018(860)056  
ホームページ <http://www.pref.akita.jp/kaikaku/index.html>



## 100万人の環境講座 NO.6

### 地球にやさしい通勤方法を実践しませんか。 - はじめようエコ交通 -

毎日の通勤に、マイカーを利用している方も、多いのではないのでしょうか。マイカーから出される排気ガスには、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素が大量に含まれています。交通機関から排出される量の約6割をマイカーが占めており、人間一人を1キロメートル運ぶための排出量は鉄道の9倍にも達します。

県は、身近なことから環境問題への関心を高めていこうと、昨年「美の国あきたエコ交通キャンペーン」をはじめます。これはマイカーから、路線バスや鉄道、自転車、徒歩など地球環境にやさしい通勤方法にかえていこうというものです。

このキャンペーンでは、毎月第4金曜日を「エコ交通の日」とし、「ノーマイカーデー運動」を行っています。

家庭で、地域で、職場で身近にできる環境保護への取り組みの輪を、大きく育てていきましょう。

お問い合わせ 県建設交通政策課  
TEL 018(860)1282 FAX 018(860)3800

## クイズ

正解者の中から抽選で、10人の方に図書カード(千円分)をお贈りします。

問題 皆さんからのおたよりが「頼り」の県広報紙。さまざまなご意見ご感想が毎月寄せられています。さて、毎月何通のおたよりが届いているでしょう?(P12参照)

- (1) 約40通
- (2) 約400通
- (3) 約4,000通

応募方法 答え、郵便番号、住所、氏名(読みがな)年齢と本紙の感想などをお書きのうえ、〒010-8570県情報公開課クイズ係(住所は不要)あてお送りください。締め切りは9月27日(消印有効)。ハガキ、ファクス(018-860-1072)、Eメール(sinjidai@mail2.pref.akita.jp)でどうぞ。

7月号の正解は「2,540種類」でした。応募376通、うち正解354通の中から抽選で次の方々が当選されました。桜庭幸司さん(大館市) 金田絵里子さん(合川町) 小泉亮さん(能代市) 繁野光太さん(天王町) 佐藤由美さん、佐藤忠(以上秋田市) 佐々木めぐみさん(本荘市) 佐々木裕子さん(田沢湖町) 佐藤祐弥さん(平鹿町) 金沢洋逸さん(湯沢市)

# 游学

さんぽみち

## 県立近代美術館

横手市赤坂 TEL 0182(33)8855

特別企画展

「生誕100年 福田豊四郎展 - わがうたはふるさとのうた -」

大正から昭和にかけ、新日本画創造の担い手として活躍した日本画家・福田豊四郎の生涯を約70点の作品で紹介いたします。

日時 9月4日(土)~10月11日(祝)

午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)

9月20日(祝)は無料公開

観覧料 一般800円、学生600円、小・中学生400円

ホームページ [http://www.pref.akita.jp/gakusyu/public\\_html/index.html](http://www.pref.akita.jp/gakusyu/public_html/index.html)



## 県立博物館

秋田市金足 TEL 018(873)4121

特別展「オリエント文化展」

古代オリエントの文化を伝える土器や装身具に加えて、ガラス製品やイスラム期以降の陶磁器、タイルなど230点余りを紹介します。

日時 9月11日(土)~10月17日(日)

午前9時30分~午後4時30分

入館料 一般500円、学生300円、小・中学生100円

休館日 9月13日、21日、27日、10月4日、12日

9月20日(祝)は無料公開

ホームページ <http://www.akita-c.ed.jp/hakubutu/index.htm>



## 保呂羽山少年自然の家

大森町 TEL 018(26)6011

保呂羽音楽祭2004

秋の気配に包まれた保呂羽の森に、あなたの歌声や楽器の音色を響かせてみませんか。音楽の好きな皆さんのためのミュージックキャンプです。

日程 10月9日(土)~11日(祝)

対象 小学4年生~成人

内容 各コース別(合唱、リコーダー、打楽器、管楽器)の講習と合奏演習、コンサート

申込期限 9月30日(木)

詳細は電話でお問い合わせください

ホームページ <http://www.lifelong.pref.akita.jp/sizen/horowa/index.html>



県政だより「あきた新時代」は県内全世帯にお届けしています。ご近所などで配達されない方がおられましたら、県情報公開課までお知らせください。また、ご感想などをお待ちしています。

県政だより「あきた新時代」は県のホームページ「美の国あきたネット」で紹介しています。

アドレスは、<http://www.pref.akita.jp/>

県政だより「あきた新時代」は、点字版、音読テープ版も発行しています。ご希望の方は、県情報公開課までお知らせください。

## 編集部から

県内各地で繰り広げられた中学や高校のスポーツ大会が終わりました。応援に一喜一憂し、声からした方も多いのではないのでしょうか。選手たちに接してみると、「ありがとう」をきちんと伝える子どもが多いことに気がきます。また、消防学校で研修中の若い消防士たちのあいさつやメリハリのある行動は清々しい気持ちにさせてくれます。テレビなどのマスコミが伝える今時の若者像とは違っている彼らですが、県内の多くの若者たちもそうであるように願いたいものです。



県人口 1,160,553人 (-396)  
男 548,670人 (-201)  
女 611,883人 (-195)  
世帯数 398,317世帯(128)

(平成16年7月1日現在の推計値。カッコ内は前月比)

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています